



JMAICMT

# 遠絡統合医学セミナー

## 実技研修資料

一般社団法人 日本遠絡統合医学会

### ※注意事項

本資料は当会会員および当会セミナー受講者の参照用としてのみ使用ください。

上記外への配布・配信等は禁止します。

# STEP 1

(目標) 12ラインの各ポイントを確実にとれるようになる。

確実な手技ができるレベルをめざします。  
以下の5つの課題を各ラインごとに確認して下さい。

## 課題

### 12ラインの走行の確認(テキスト・ENRAC人形 参照)

(課題1) 各ラインの走行 流れの方向

(課題2) 各ライン・ポイントを取る際の肢位とコツ

### 12ラインのC-point、F-pointの確認

(課題3) 各ラインのC-pointを確認する。

(課題4) 各ラインのF-pointを確認する。

a・b・bc・c・1・2・3・4・5・6

(課題5) 各ポイントの押棒の使い分けを確認する。  
(資料「押棒の使い分け」参照)

# STEP 1

## 押棒の使い分け



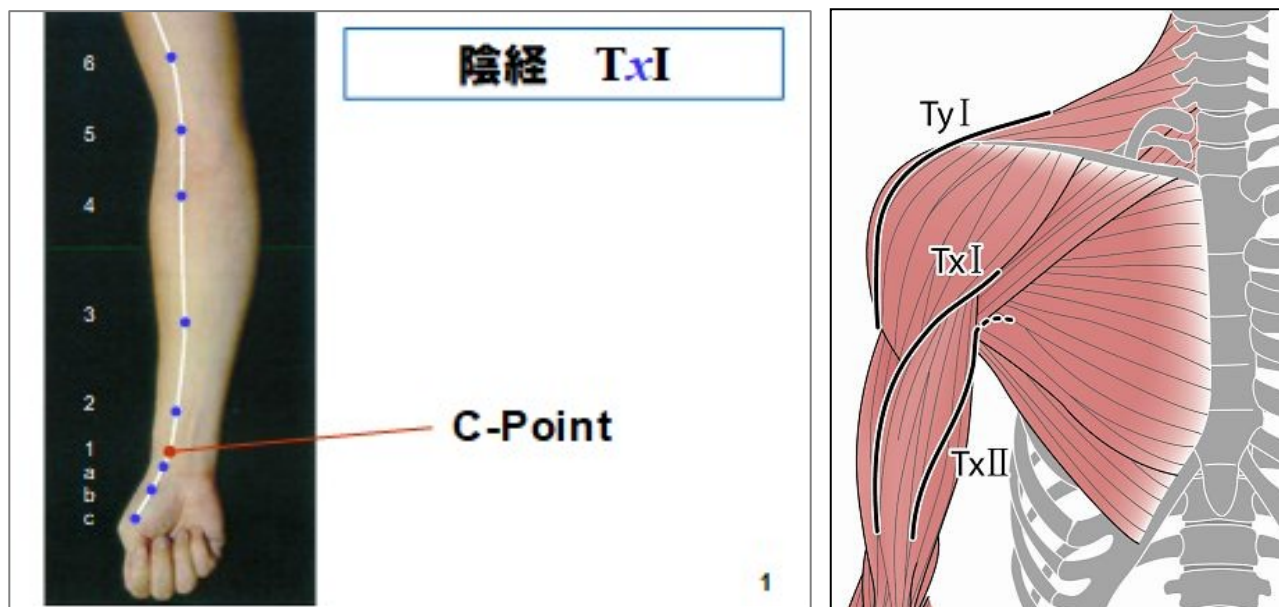
### C-point

Tx I	太の細	Ty I	細の太	Ay III	太の細	Ax III	太の細
Tx II	細の細	Ty II	細の細	Ay II		Ax II	
Tx III	細の細	Ty III	細の太	Ay I		Ax I	

### F-point

	c·a·b	6~1		c·b	a	6~1	
Tx I	細の太	太の細	Ax I	細の太	細の太	太の細	
Tx II			Ax II		細の太		
Tx III			Ax III		太の細		太の細
Ty I			Ay I	細の太	細の太		
Ty II					Ay II		細の太
Ty III					Ay III		太の細

# TxI



## 課題

(課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

鎖骨下部→母指付け根

(課題2) ポイントの取り方のコツ

肢位: 回外位 TxI は親指を握る。

上腕・前腕は橈側側から巻き込むように骨際取る。

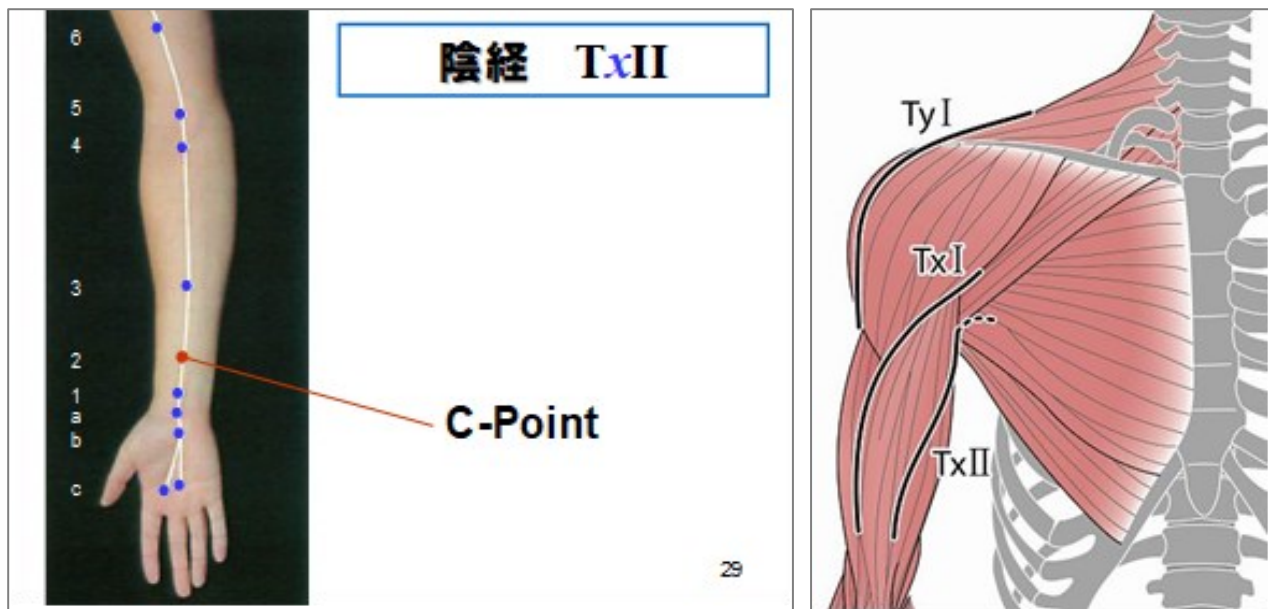
(課題3) C-point「1」位置と取り方

手関節より中枢側に橈骨遠位の骨のふくらみのキワ  
太棒の細を使う

(課題4) F-point の位置と取り方 a・b・bc・c・1・2・3・4・5・6

(課題5) 各ポイントの押棒の使い分け

# TxII



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

腋窩・上腕二頭筋内縁→手掌第2,3指間と第3,4指間に分かれる。

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

肢位: 回外位

上腕のポイントは、上腕二頭筋の筋腹を内側または外側からよけて上腕骨上を押すように取る。

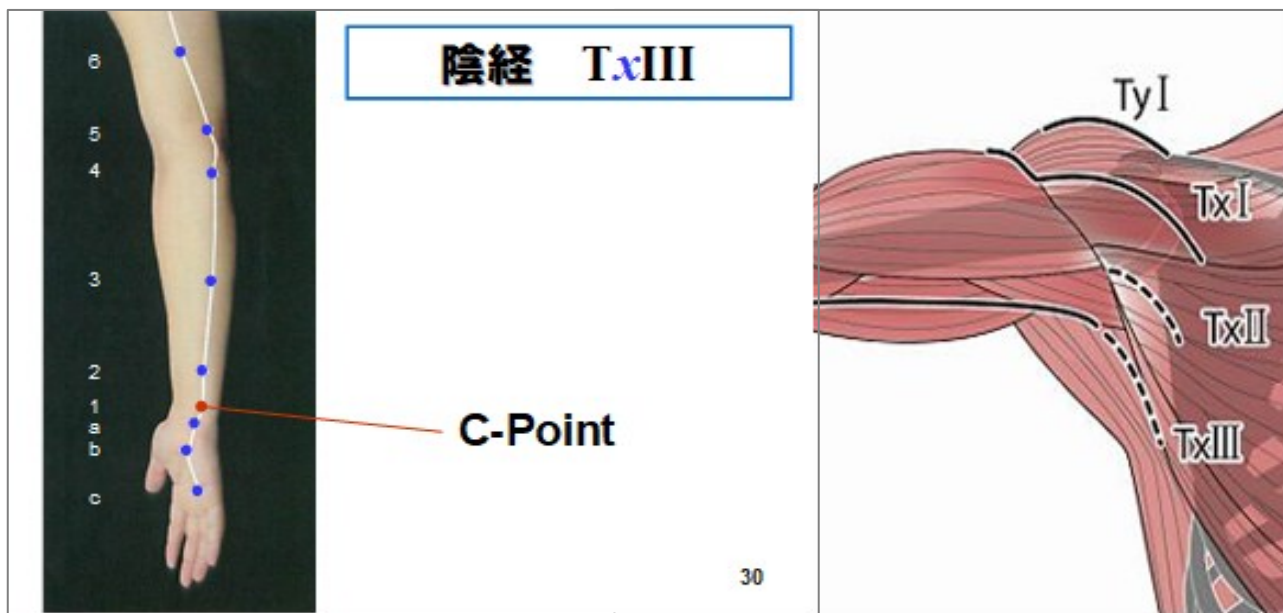
### (課題3) C-point「2」位置と取り方

手関節細から患者の手で3横指中枢側  
細棒の細を使う

### (課題4) F-point の位置と取り方 a・b・bc・c・1・2・3・4・5・6

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け

# TxIII



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

腋窩中央→手掌第4,5指間

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

肢位: 回外位

前腕は尺側側から尺骨を巻き込むように骨際取る。  
上腕は尺側側より上腕二頭筋と上腕骨の間に滑りこむように取る。

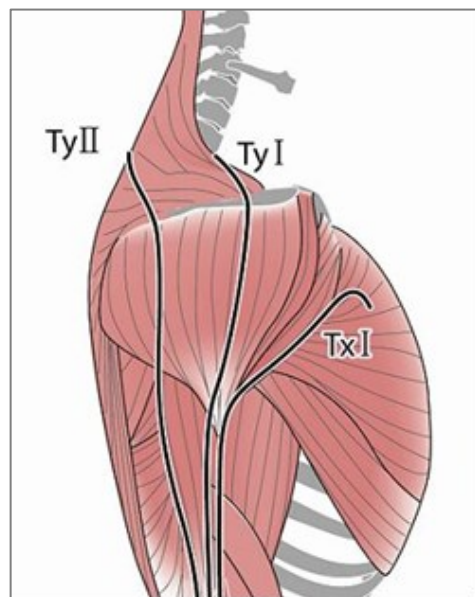
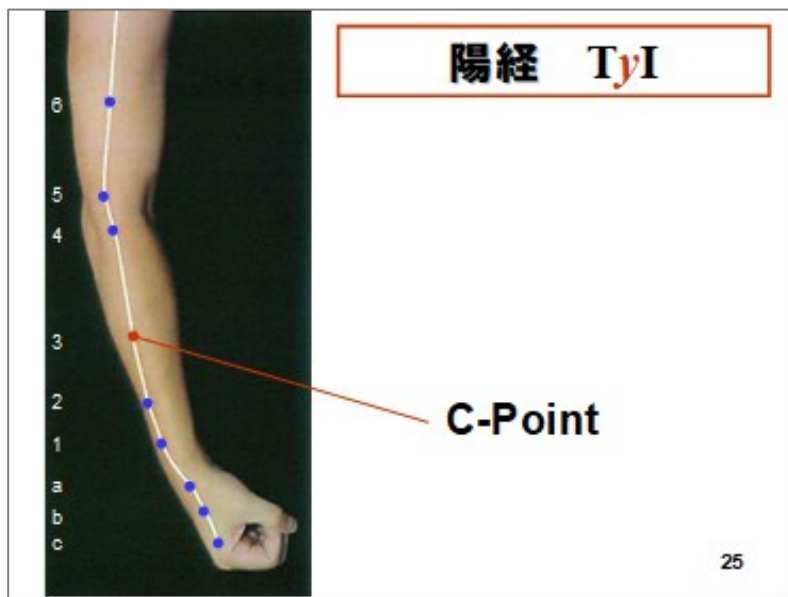
### (課題3) C-point「1」位置と取り方

手関節から尺骨遠位のキワ TxI/1 と同じ高さ。

### (課題4) F-point の位置と取り方 a・b・bc・c・1・2・3・4・5・6

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け

# TyI



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

第2指橈側→肩関節上方、三角筋中央部

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

肢位: 回内回外中間位

前腕は橈側側から橈骨を巻き込むように骨際取る。

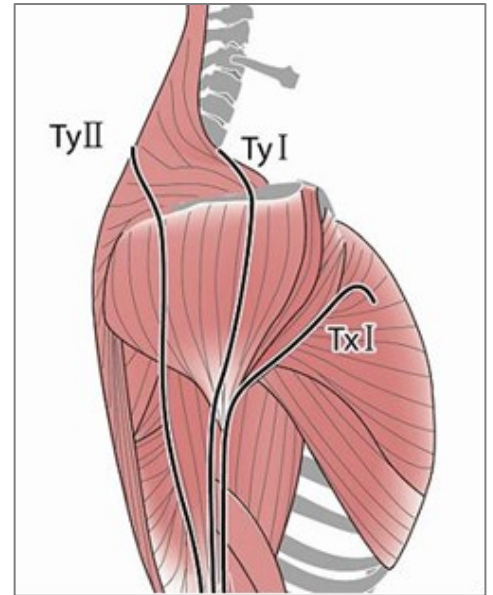
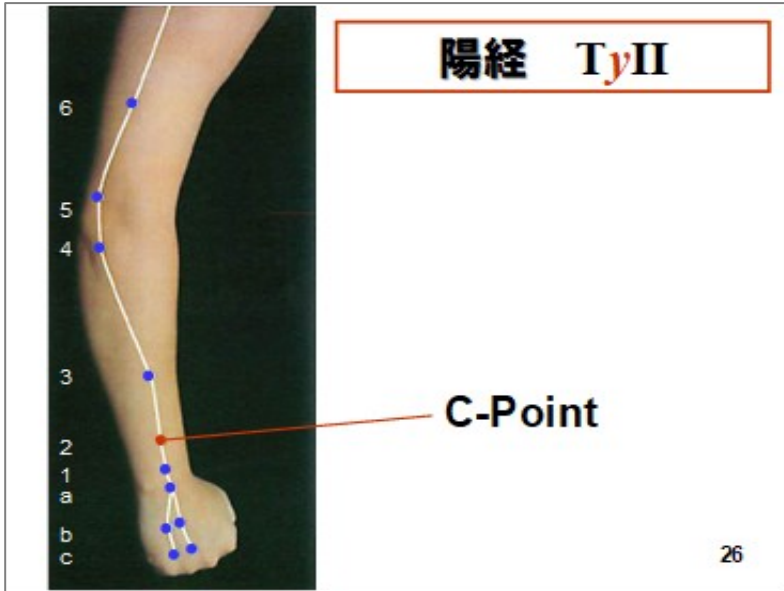
### (課題3) C-point「3」位置と取り方

前腕（肘の横紋～手関節）の2等分の高さ  
長橈側手根屈筋の筋腱移行部

### (課題4) F-point の位置と取り方 $a \cdot b \cdot bc \cdot c \cdot 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6$

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け

# TyII



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

手背側 第2,3指間と第3,4指間→肩肩峰・三角筋後縁

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

肢位: 回内位

前腕は橈側側から橈骨を巻き込むように骨際取る。

### (課題3) C-point「2」位置と取り方

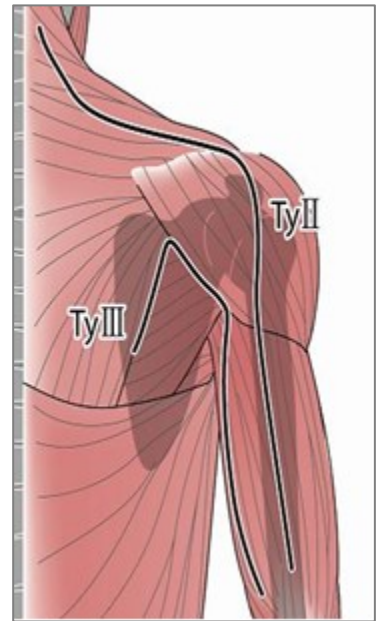
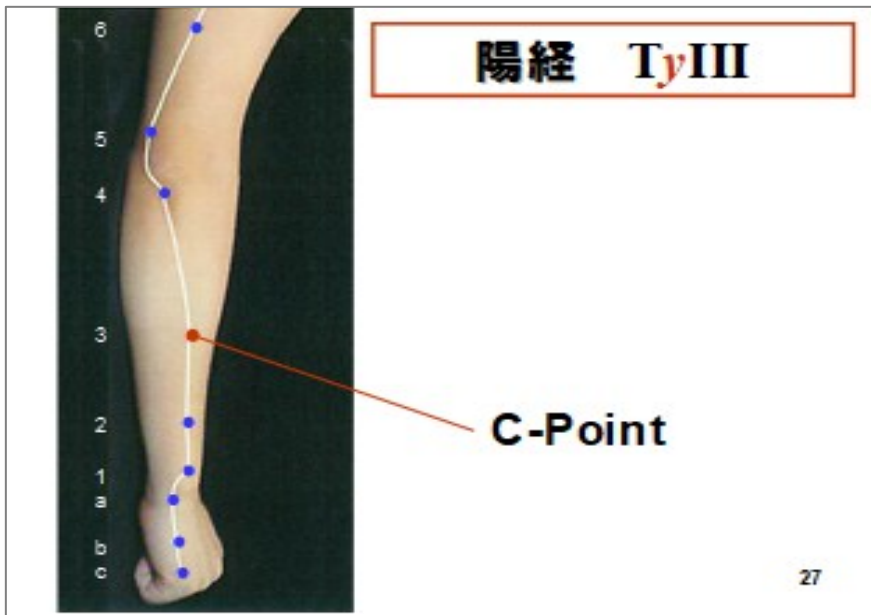
手関節から患者の手で3横指中枢側 TxII/2と同じ高さ  
細棒の細

### (課題4) F-point の位置と取り方 $a \cdot b \cdot bc \cdot c \cdot 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6$

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け



# TyIII



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

第5指の尺側側面→肩関節後面の下縁

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

肢位: 回内位

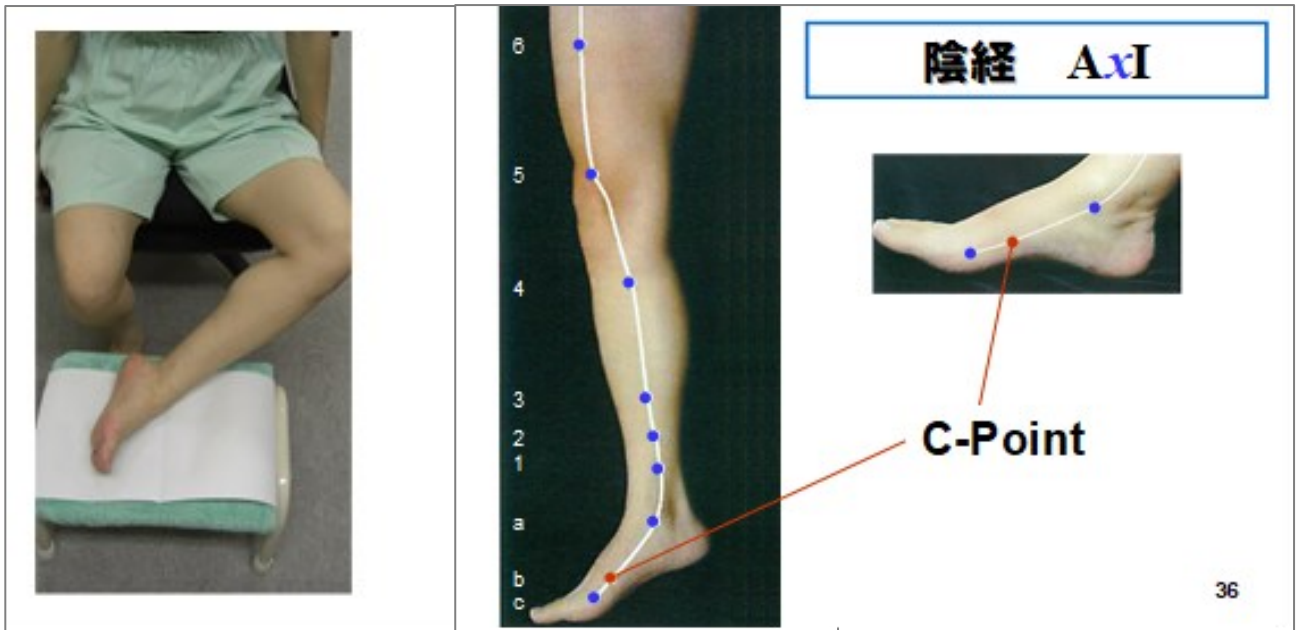
前腕は尺側側より尺骨を巻き込むように骨際取る。

### (課題3) C-point「3」位置と取り方

前腕（肘の横紋～手関節）の2等分の高さ  
長側手根伸筋の筋腱移行部

### (課題4) F-point の位置と取り方 a・b・bc・c・1・2・3・4・5・6

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

第1趾内側→脛骨骨際→大腿直筋内側縁→鼠径部

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

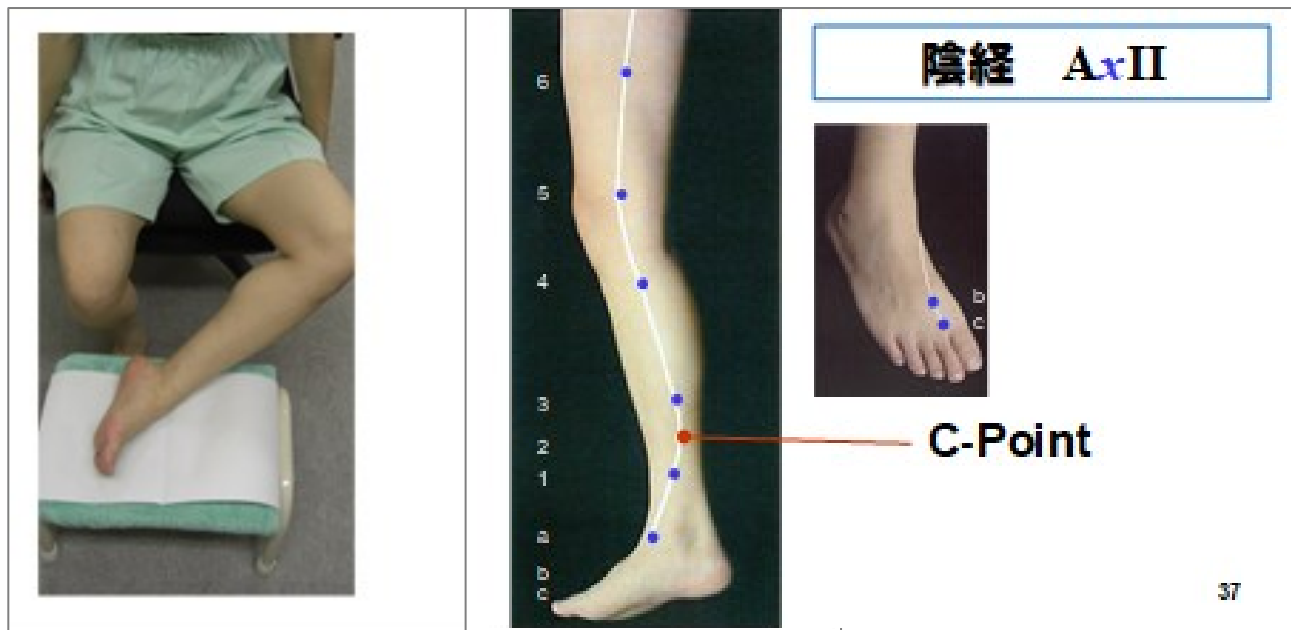
肢位:股関節外転外旋位

### (課題3) C-point「b」位置と取り方

第1中足骨近位端の基部の膨らみの足底側のキワを取る。  
細棒の細

### (課題4) F-point の位置と取り方 $a \cdot b \cdot bc \cdot c \cdot 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6$

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

第1,2趾間→脛骨内側後縁から約一横指後方  
→大腿内側中央→鼠径部中央

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

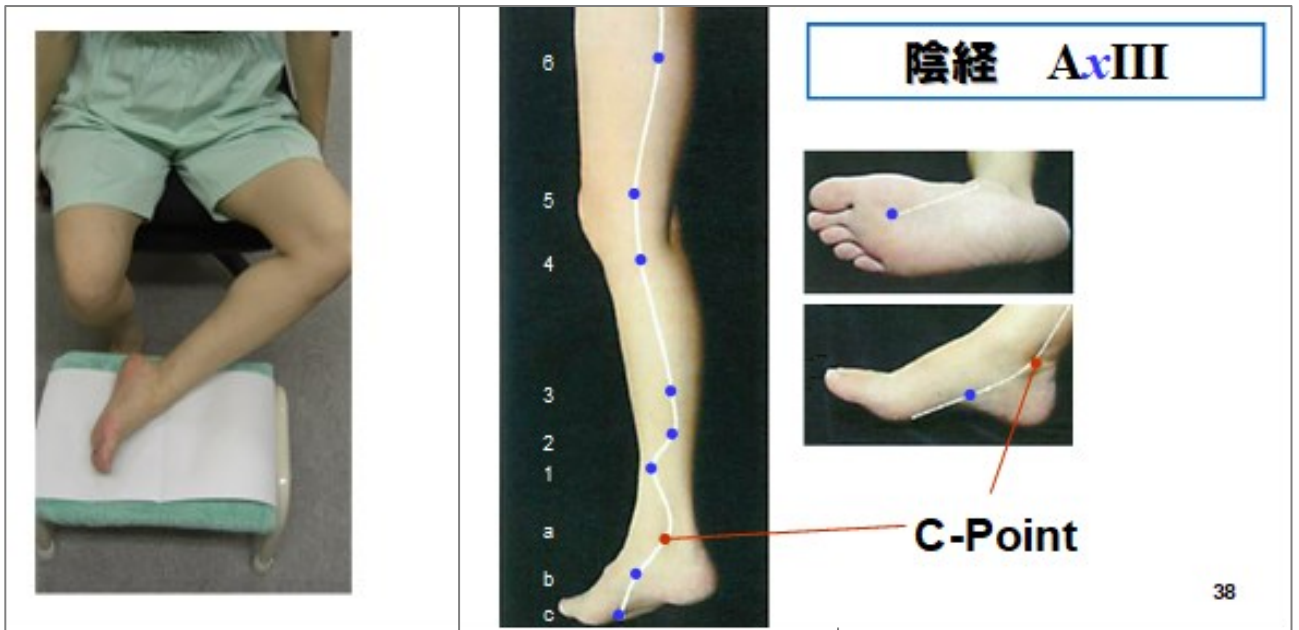
肢位:股関節外転外旋位

### (課題3) C-point「2」位置と取り方

下腿三頭筋（腓腹筋）の筋複のカーブをなだらかに延長し、  
脛骨後内縁との交点から約一横指後方

### (課題4) F-point の位置と取り方 a・b・bc・c・1・2・3・4・5・6

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

足裏第1,2趾間→内踝後側—アキレス腱と脛骨の間  
→大腿内側半腱半膜様筋腱のキワ→鼠径部後方

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

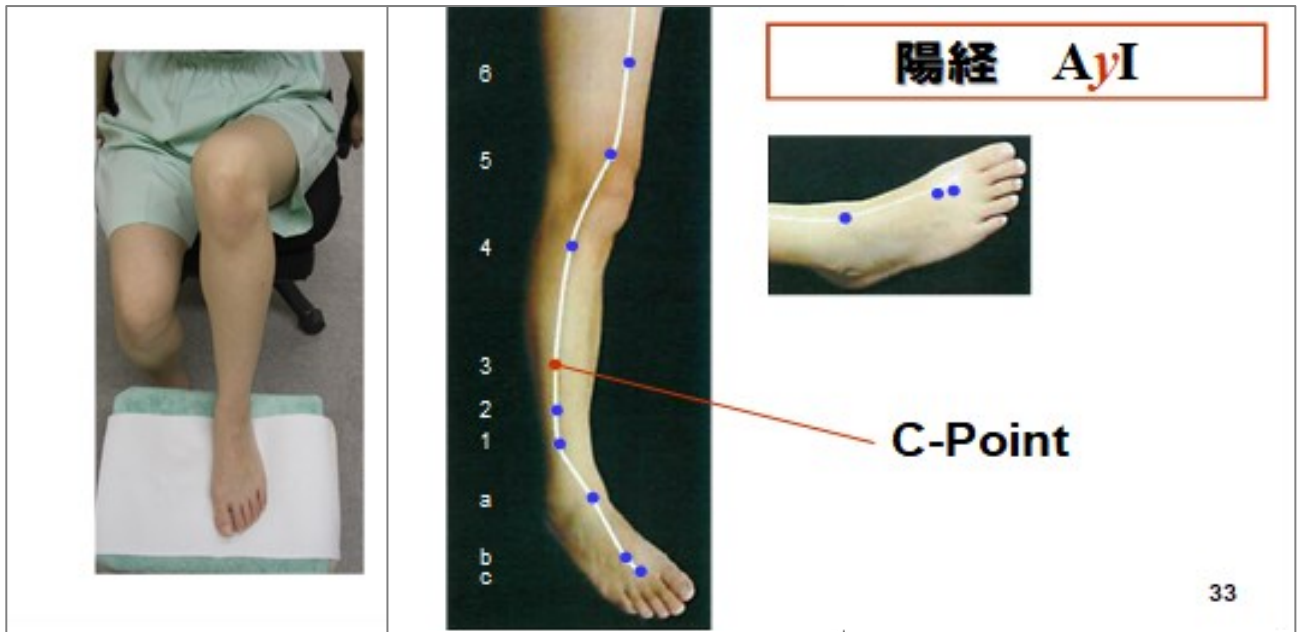
肢位:股関節外転外旋位

### (課題3) C-point「a」位置と取り方

内果の後側のキワ  
太棒の細を使う

### (課題4) F-point の位置と取り方 $a \cdot b \cdot bc \cdot c \cdot 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6$

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

股関節大腿直筋外側の際→膝蓋骨→前脛骨筋外側のキワ  
→足関節前中央→第2,3趾間

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

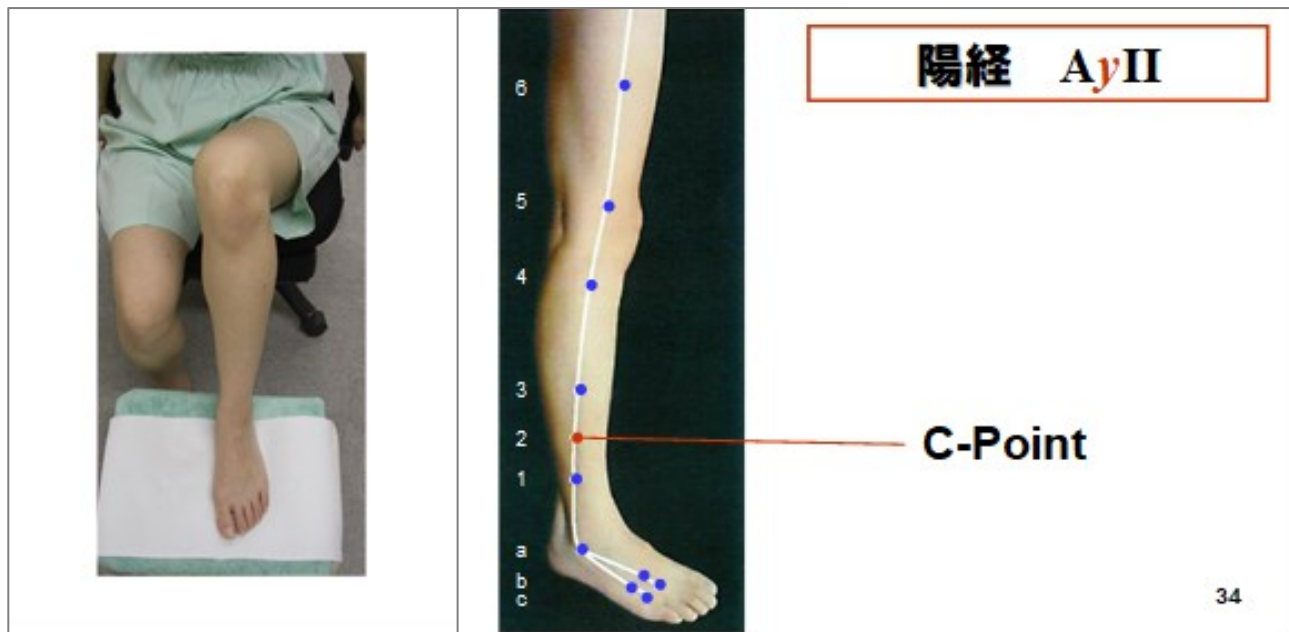
肢位:股関節外転中間位

### (課題3) C-point「3」位置と取り方

下腿（膝蓋骨上縁～足関節前中央）の2等分の高さ  
脛骨前縁より外側の前脛骨筋筋腹の外側縁

### (課題4) F-point の位置と取り方 $a \cdot b \cdot bc \cdot c \cdot 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6$

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

股関節大転子部→大腿外側中央→下腿外側中央（腓骨前縁）  
→外果の内前方→第4,5趾間

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

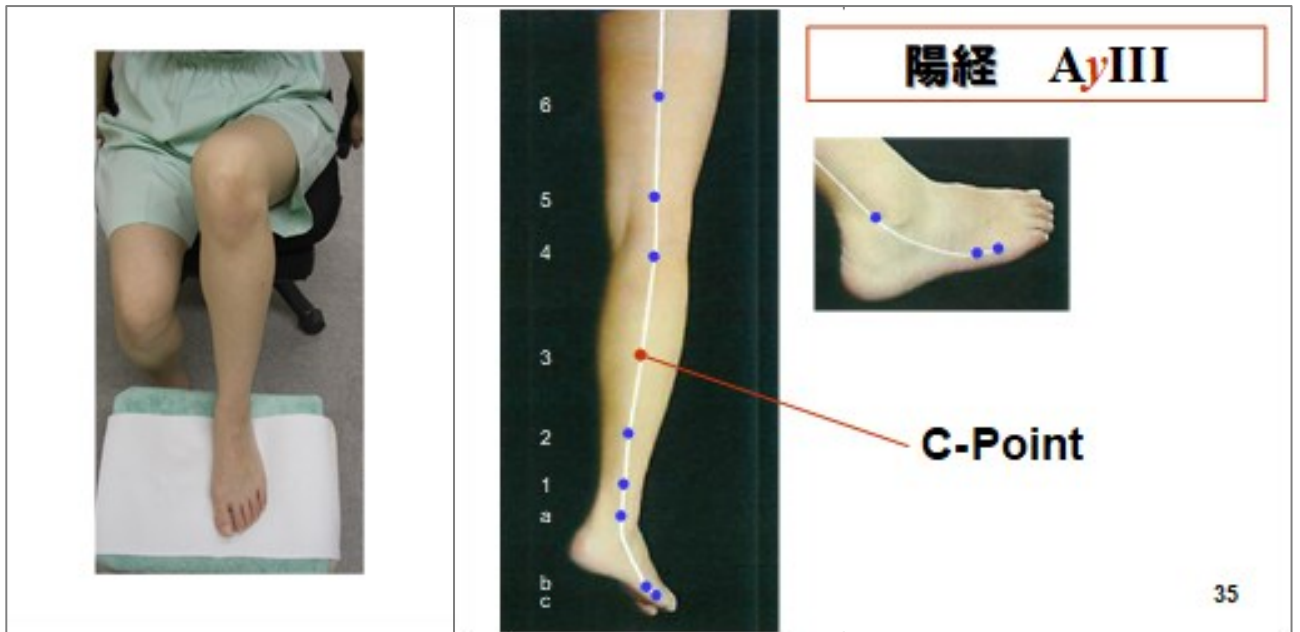
肢位:股関節外転中間位

### (課題3) C-point「2」位置と取り方

腓骨前縁 AxII/2と同じ高さ

### (課題4) F-point の位置と取り方 $a \cdot b \cdot bc \cdot c \cdot 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6$

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け



## 課題

### (課題1) ラインの走行と流れの方向の確認

臀部坐骨結節部→大腿後面中央→下腿後面やや外側  
→外果後方→第5趾外側

### (課題2) ポイントの取り方のコツ

肢位:股関節外転中間位

### (課題3) C-point「3」位置と取り方

腓腹筋とアキレス腱の筋腱移行部の高さ  
腓腹筋外側頭の内側より腓骨後面に向かって取る

### (課題4) F-point の位置と取り方 a・b・bc・c・1・2・3・4・5・6

### (課題5) 各ポイントの押棒の使い分け

## STEP 2

(目標) 手技 (深圧・瀉法・補法) を正しく行える

確実な手技ができるレベルをめざします。  
以下の3つの課題を確認して下さい。

### 課題

(課題6) 深圧・瀉法・補法の確認する

背もたれのイメージ 深さ・強さ 角度 回数など

(課題7) 増流処置・牽引寫法の確認する

各ラインのF-pointと手技の確認

陰経に対する対応の確認

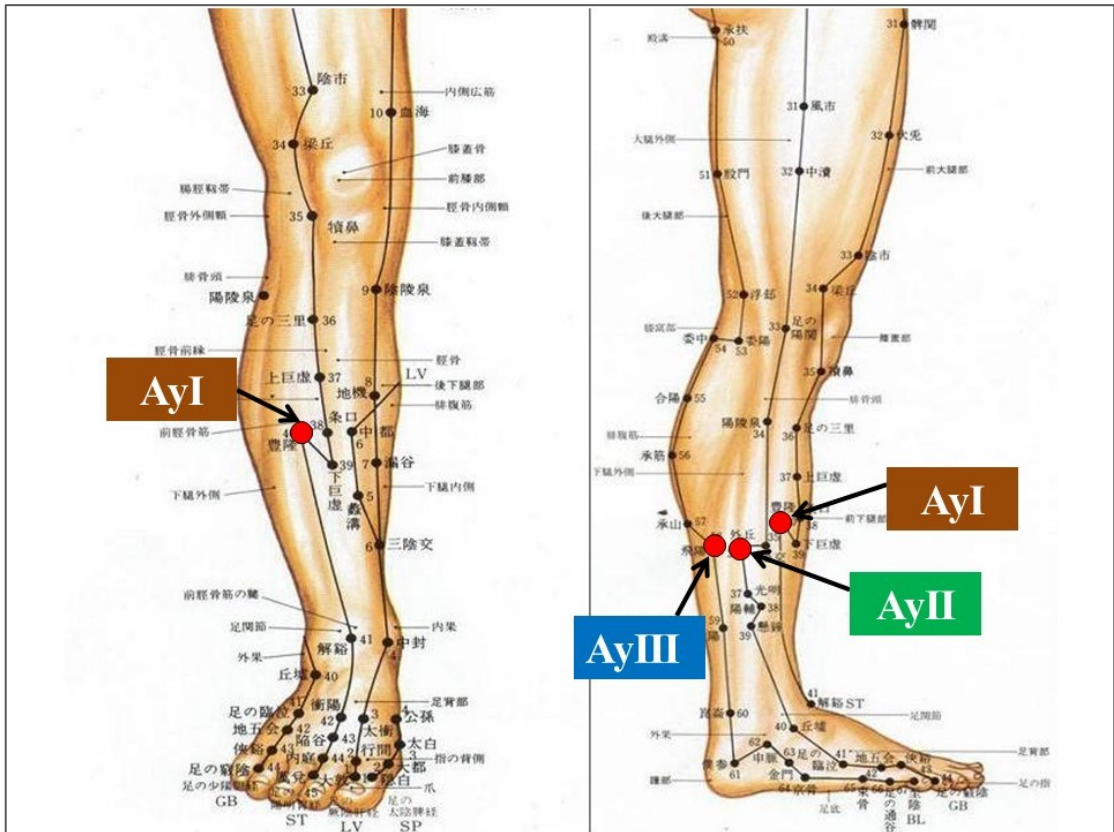
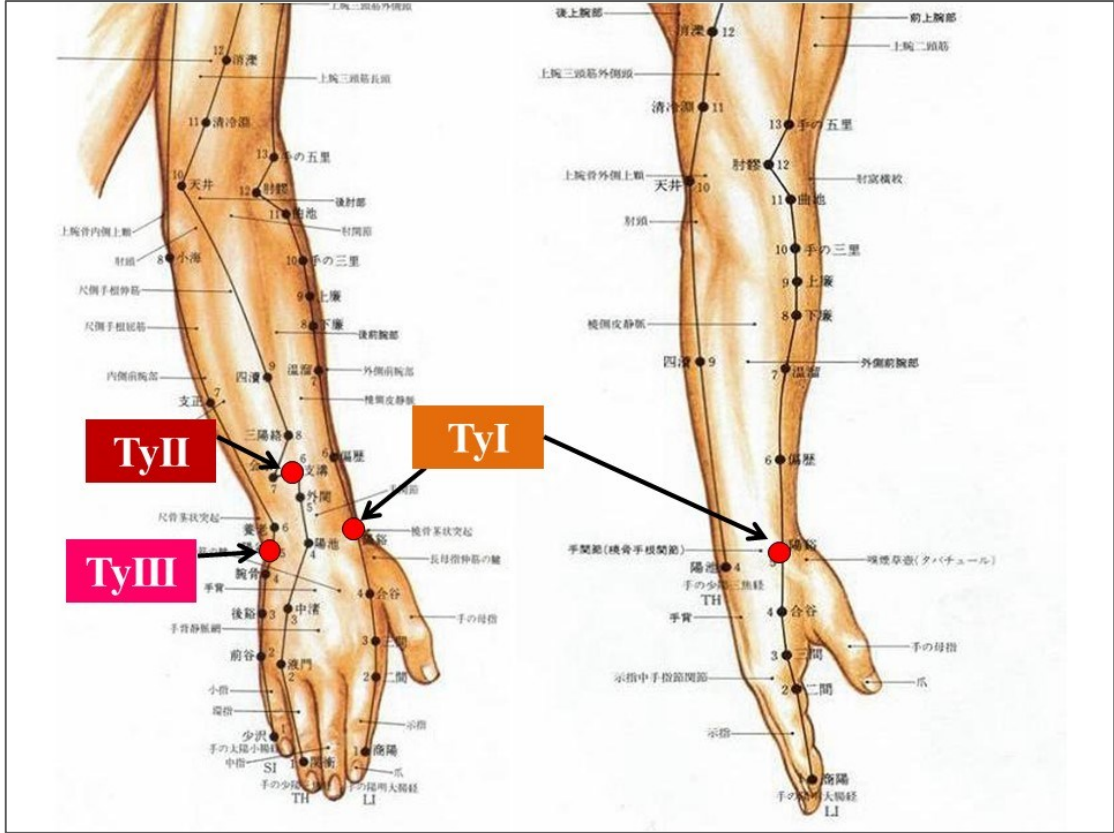
AyII,AyIII,TyI,TyIII は倒馬針「c!」も確認

(課題8) 症例1、2を行って一連の局所治療手技を確認する

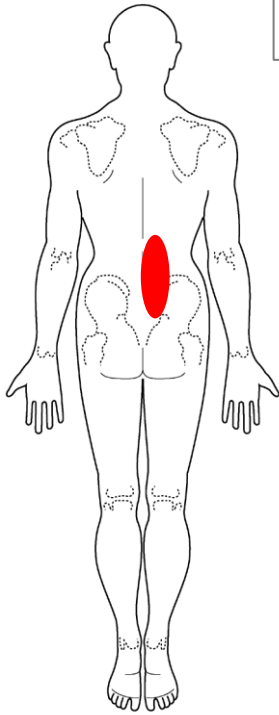
症例3～9は必要に応じて参考にしてください



# STEP 2



## 症例1



右のAyIIIライン上の腰痛 レベル 5+4+b

(処方式) rAyIII/5+4+b

(治療式)

接続 lTxI/1:5+4+b

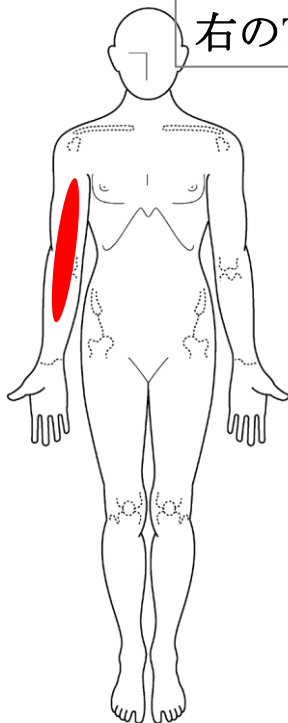
相輔 lAxI/b:(5+4+b)

増流処置

rAyIII//6/3! ⇒ 母 rTyII/0:6 父 rTyIII/0:6

牽引瀉法 rAyIII/0:3+c!  
瀉の方向の確認

## 症例2



右のTxIIライン上の上腕～前腕の痛み レベル 6+3

(処方式) rTxII/6+3

(治療式)

接続 lAxIII/a:6+3

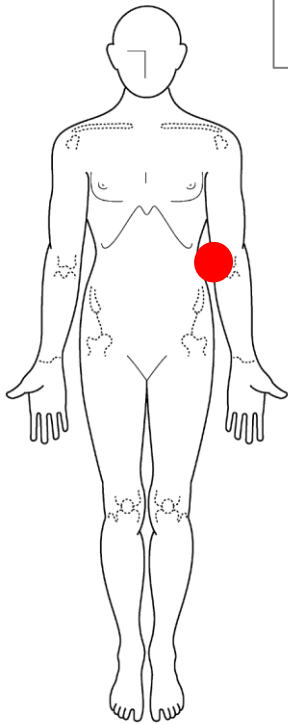
相輔 lAxIII/a:(6+3)

増流処置

rTxII//6/2~3! ⇒ 母 lTyI/3:6 父 rTyIII/3:6

牽引瀉法 rTyII/2:2~3!  
瀉の方向の確認

## 症例3



左ゴルフ肘 ITxIII レベル3

(処方式) ITxIII/3

(治療式)

接続 rAxI/0:3

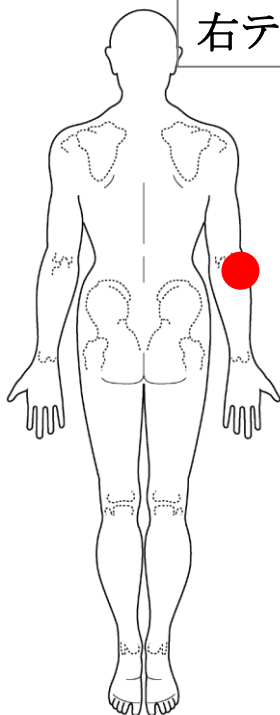
相輔 rTxII/2:(3)

増流処置

ITxIII//6/3! ⇒ 母 lAyII/2:6 父 rTyI/3:6

牽引瀉法 lTyIII/3:a+c!  
瀉の方向の確認

## 症例4



右テニス肘 rTyI レベル3

(処方式) rTyI/3

(治療式)

接続 lAxII/2:3

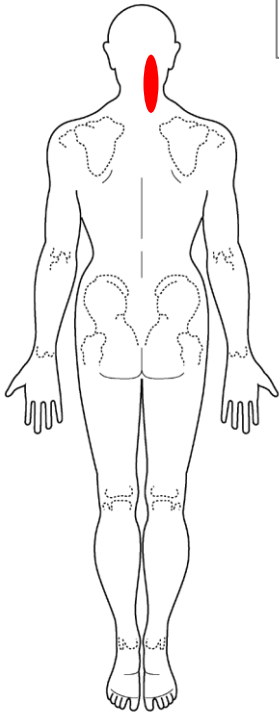
相輔 rTxIII/1:(3)

増流処置

rTyI//6/a! ⇒ 母 rAyII/0:6 父 rAyI/0:6

牽引瀉法 lTyI/0:a+c!  
瀉の方向の確認

## 症例5



**Atlas (第一頸椎) rAyIII レベル c+a**

アレルギー、後頭部痛、首の付け根のコリ 等

(処方式) rAyIII/c+a

(治療式)

接続 lTxI/1:c+a

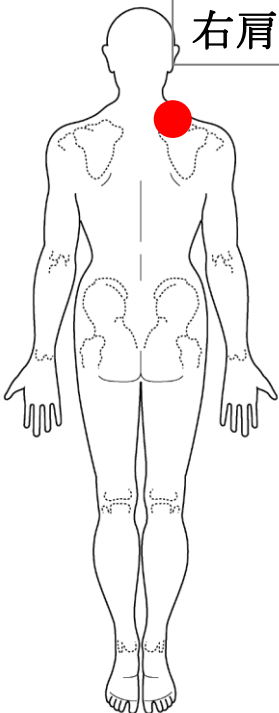
相輔 lAxI/b:(c+a)

増流処置

rAyIII//6/3! ⇒ 母 rTyII/0:6 父 rTyIII/0:6

牽引瀉法 rAyIII/0:3+c!

## 症例6



**右肩こり ① rAyII ② rTyII レベル c+a**

(処方式) ① rAyII/c+a ② rTyII/c+a

(治療式)

①接続 rTxIII/1:c+a

相輔 lTxI/1:(c+a)

増流処置 母 rAyI/0:6 父 rAyIII/0:6

牽引瀉法 rAyII/0:3+c!

②接続 lAxIII/a:a

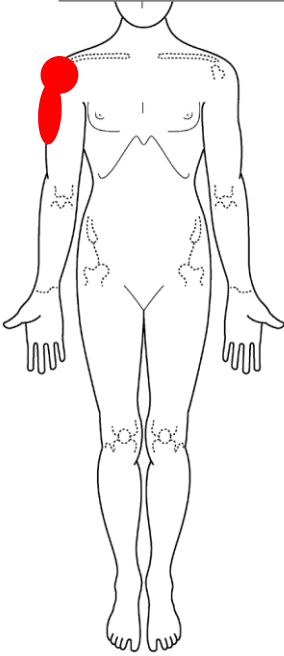
相輔 lAxIII/a:(a)

増流処置 母 rTyIII/0:6 父 lTyI/0:6

牽引瀉法 rTyII/0:2~3

## 症例7

右肩～上腕前側の痛み ① rTyI ② rTxI レベル a+6



(処方式) ① rTyI/a+6 ② rTxI/a+6

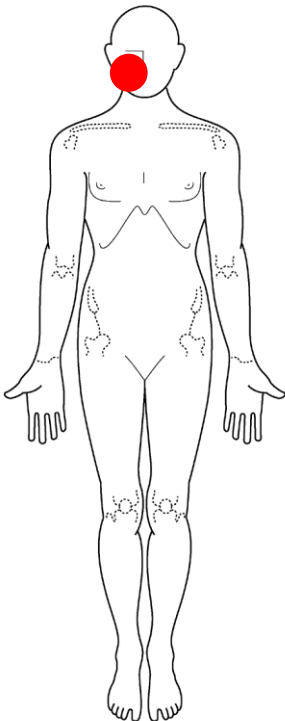
(治療式)

①接続 lAxII/2:a+6  
相輔 rTxIII/1:(a+6)  
増流処置 母 rAyII/0:6 父 rAyI/0:6  
牽引瀉法 lTyI/0:a+c!

②接続 lAxII/0:a+6  
相輔 rTxIII/1:(a+6)  
増流処置 母 rAyI/3:6 父 rAyII/2:6  
牽引瀉法 lTyI/3:a+c!

## 症例8

右顎関節の痛み rAyI レベル b



(処方式) rAyI/b

(治療式) F-point 「b」 の位置は圧痛点を探す

接続 lTxII/2:b

相輔 lAxII/2:(b)

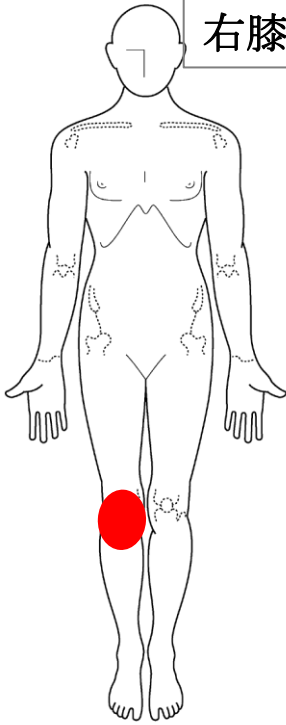
増流処置

rAyI//6/3! ⇒ 母 rAyIII/0:6 父 rTyII/0:6

牽引瀉法 rAyI/0:3!

# 症例9

右膝の痛み ① rAxII ② rAxI ③ rAyI レベル3



(処方式) ① rAxII/3 ② rAxI/3 rAyI/3

(治療式)

①接続 lTxI/0:3  
相輔 lTxI/1:(3)  
増流処置 母 rAyIII/3:6 父 rAyI/3:6  
牽引瀉法 rAyII/2:3!

②接続 rTxIII/0:3  
相輔 lAxII/2:(3)  
増流処置 母 rTyII/2:6 父 rAyIII/3:6  
牽引瀉法 rAyI/3:3!

③接続 lTxII/2:3  
相輔 lAxII/2:(3)  
増流処置 母 rAyIII/0:6 父 rTyII/0:6  
牽引瀉法 rAyI/0:3!

## STEP 3

(目標) 「d」の意味を理解して、正しく使用できる

確実な手技ができるレベルをめざします。  
以下の2つの課題を確認して下さい。

### 課題

(課題9) 「d」の位置を確認する。

「d」の瀉法・補法の押し方を確認する。

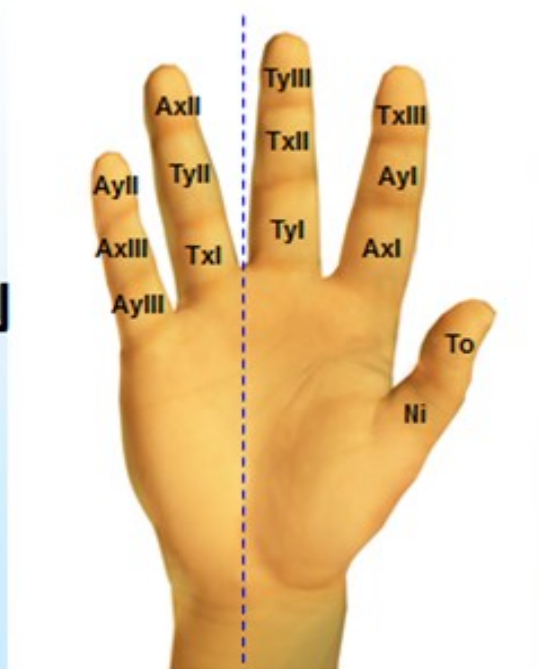
(課題10) 症例10で「d」を含む一連の手技を確認する

症例11, 12は必要に応じて参考にしてください

# STEP 3

## 「d-point」と指節の対応図

同側



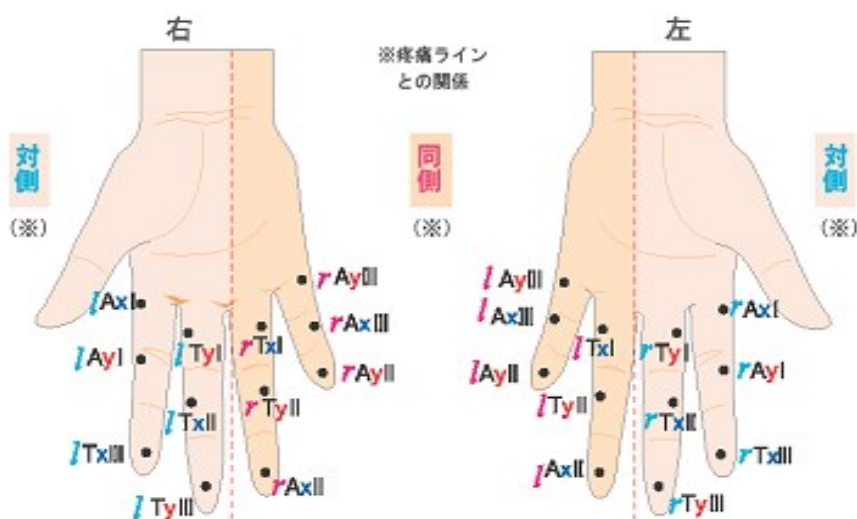
対側

54

各「治療ライン」の「d point」の位置

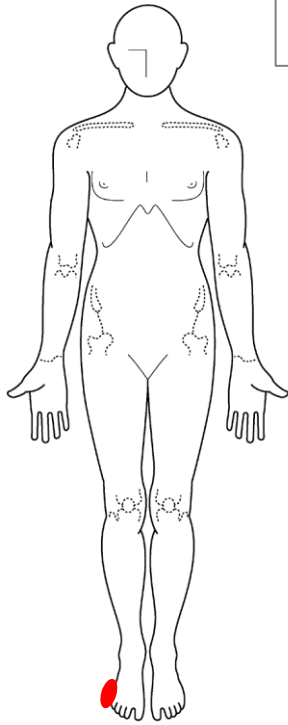
ENRAC

図中の黒印=押す位置





## 症例10



右足第5趾の痛み rAyIII レベル d

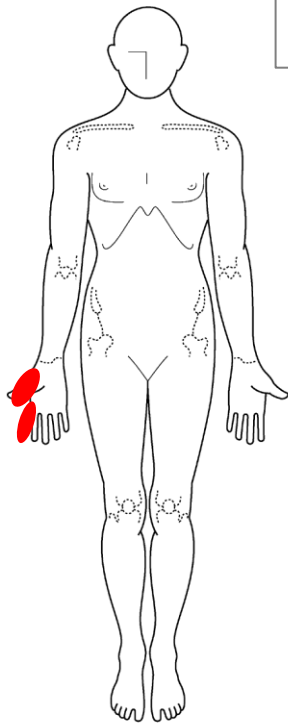
(処方式) rAyIII/d

(治療式)

接続 lTxI/1:d TxIの「d」の位置

相輔 lAxI/b:(d) AxIの「d」の位置

## 症例11



右手第1,2指の痛み rTyI レベル d

(処方式) rTyI/d

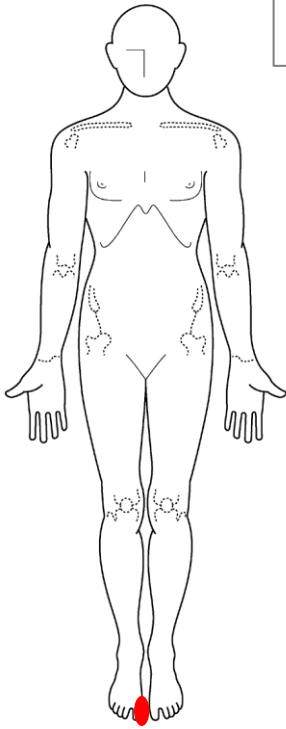
(治療式)

接続 lAxII/2:d AxIIの「d」の位置

相輔 rTxIII/1:(d) TxIIIの「d」の位置

## 症例12

右足第1趾の痛み rAxI レベル d



(処方式) rAxI/d

(治療式)

連接 rTxIII/0:d TxIIIの「d」の位置

相輔 lAxII/2:(d) AxIIの「d」の位置